

- 問1

日本の諸地域における農業の統計において、農業産額の合計が約2兆564億円と全国で最も大きく、品目別の構成比で「野菜」の占める割合が4割を超えている地域はどこですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 東北地方

2. 九州地方

3. 関東地方

4. 北海道
- 問2

関東地方の各都県における製造品出荷額の統計において、東京都の「印刷・同関連業」の割合（約12.4%）が、他の県に比べて顕著に高い数値を示す理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 印刷業には大量の工業用水が必要であり、多摩川などの豊かな水資源を利用するため。

2. 原材料となる木材やパルプの輸入港が、都心部に集中しているため。

3. 大規模な工場を建設するための広大な土地が、都心部で確保しやすいため。

4. 新聞社、出版社、官公庁などが集中しており、情報の集積地としての需要が大きいため。
- 問3

東京都港区の統計において、1980年代半ばと現在を比較すると、かつては減少傾向にあった人口が、近年では40歳代前後の層を中心に顕著な増加に転じています。このような人口動態の変化をもたらした、都市中心部での取り組みとして最も適切なものはどれか選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 都心部から地方への企業本社の移転促進

2. 過疎地域からの集団移住を促す制度の導入

3. 工場の跡地などを活用した大規模な再開発

4. 郊外における大規模なニュータウンの建設
- 問4

東京都の南に位置し、相模湾に面するある県について述べた文として、統計上の特徴と合致する名称を選択してください。この県は京浜工業地帯の中核をなし、製造品出荷額等が極めて高い規模を誇る一方、水稻の作付面積はわずか0.3万ヘクタールと少なく、就業者数の約78パーセントをサービス業などの第3次産業が占めています。（2022年 愛知県公立入試 類似）

1. 沖縄県

2. 岩手県

3. 北海道

4. 神奈川県
- 問5

冬の関東平野において、北西から吹く季節風が非常に乾燥している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。

2. シベリア大陸から吹いてくる風が、海を一切通らずに直接関東へ届くため。

3. 太平洋の上空を通過する際に、黒潮の影響で水分が蒸発してしまうため。

4. 関東山地の標高が低いため、海からの湿った空気が入ってこないため。
- 問6

東京都中央卸売市場における2021年の統計において、群馬県からの入荷量が全体の51.8%という圧倒的なシェアを占めている農作物があります。この農作物は、群馬県の標高が高い地域で夏の涼しい気候を利用して栽培されていますが、このような農業の形態を何と呼びますか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 高冷地農業

2. 近郊農業

3. 促成栽培

4. 施設園芸農業
- 問7

千葉県は、巨大な消費地である東京に近いという立地条件を活かし、野菜や花きを生産して高い産出額を上げ、鮮度が重視される作物を迅速に出荷しています。このような、都市の周辺で行われる農業の形態を何と呼びますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 粗放の農業

2. 近郊農業

3. 抑制栽培

4. 促成栽培
- 問8

群馬県の製造業出荷額の構成比において、全出荷額の3分の1以上を占め、県内で最も主要な産業となっている製造業の種類を、次の中から選びなさい。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 輸送用機械器具

2. 電気機械器具

3. 化学工業

4. 食料品工業
- 問9

群馬県沼田市から東京都の大田市場まで農産物を輸送する場合、一般道路を利用すると約300分かかりますが、高速道路を利用すると約150分に短縮されます。このように、農業において高速道路網を活用した輸送時間の短縮を図る最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 農産物の鮮度を保ったまま、収穫したその日のうちに都市部の店頭へ並べるため。

2. 鉄道輸送に切り替えることで、一度に大量の穀物を遠方の港まで運ぶため。

3. 一般道路の渋滞を避けることで、排気ガスによる農作物への直接的な被害をなくすため。

4. 輸送コストを最小限に抑えるために、数日かけてゆっくりと市場へ届けるため
- 問10

栃木県の地理的な位置関係や特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）

1. 関東地方の東部に位置し、太平洋に面した広大な海岸線と港湾を持っている。

2. 関東地方の北部に位置する内陸県であり、日光などの歴史的な観光地を擁している。

3. 関東地方の西部に位置し、日本海側と接することで冬場には多くの降雪が見られる。

4. 関東地方の南部に位置し、東京都や神奈川県と隣接する人口密度の非常に高い県である。
- 問11

千葉県の産業構造について、製造品出荷額と野菜産出額の双方が高い水準にある背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 海外輸出に特化した巨大な港湾施設により、原材料の加工貿易と農産物の海外出荷が産業の柱となっているため

2. 冷涼な気候を活かした工場の冷却水確保と、寒冷地特有の野菜生産が全国的に評価されているため

3. 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため

4. 県全域が山がちな地形で平地が少ないため、限られた土地を工業と農業で効率的に分け合っているため
- 問12

関東平野の東部に位置する茨城県の南東部では、標高が約100mと比較的平坦な地形を活かした農業が展開されています。この地域では、ビニールハウスなどの設備を用いて温度を管理することで、ピーマンなどを一年中生産する工夫が見られます。このように、人工的な設備を利用して作物を育てる栽培方法を何と呼びますか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 促成栽培

2. 有機栽培

3. 抑制栽培

4. 施設栽培
- 問13

成田国際空港における貿易の状況について、航空貨物としての特徴を踏まえた記述として、最も適切な背景や理由を説明しているものはどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 京葉工業地域の中心に位置し、石油化学コンビナートで生産された製品を直接輸出する役割を担っているため。

2. 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。

3. 広大な敷地を利用して、自動車を数千台規模で一時的保管し、そのまま海外へ積み出す設備が整っているため。

4. 日本最大の輸入相手国である中国に最も近いため、安価な原材料を大量に受け入れる拠点となっているため。